

個別施設計画

策定年月 H31.1

施設名	森林研究所(木材加工研究室)		所在地	真庭市勝山1884-2	
敷地面積	6, 905. 78 m ²		棟数	16 棟 (計画記載対象 3 棟)	
延床面積	1, 955. 80 m ²			※対象は200㎡以上の建物(車庫、倉庫等は500㎡以上) ※公舎・寮は全て対象	
設置目的	木材加工に関する試験研究を行う。				
【想定される自然災害】					
予想震度 震度5強		津波 ー		浸水 0.5m以上1.0m未満	
建築規制	非線引都市計画区域、準工業地域(建ぺい率:60%・容積率:200%)				
エネルギー使用量 (2017 年度)	電気 182,040 kwh	ガス 9 m ³	水道 435 m ³	燃料 (灯油) 2,665 0	
管理上の 特記事項	敷地内未利用地なし、敷地内貸付地なし				

1 施設内建物の概況

名 称	試験棟	実習場	寄宿舍
築年(西暦)	1988 年	1963 年	1966 年
構 造	木 造 1 階	軽量鉄骨 造 1 階	コンクリートブロック 造 2 階
建築面積	462.16 m ²	231.83 m ²	192.74 m ²
延床面積	462.16 m ²	231.83 m ²	309.74 m ²
主要な用途 (室名等)	展示研修、加工試験 強度試験	製材試験、保存試験 注入試験	
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備)	
利用状況	中	高	低
耐震性 ※1	有	無	
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5		
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	屋根 外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強〜7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

・試験棟は、設備等の定期更新を行いながら使用を継続する。
・実習場は、耐震性がなく老朽化が進んでいるため、改修を行い使用を継続する。
・寄宿舍は、老朽化が進んでおり、今後の利用見込みもないため取り壊す。
なお、事務所棟は延床面積156㎡と小規模なため、建物ごとの詳細は記載していないが、使用は継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
試験棟	・設備等の定期更新を実施する。
実習場	・耐震改修を実施する。 ・外壁の定期更新を実施する。 ・設備等の定期更新を実施する。
寄宿舍	・老朽化が進んでおり、今後の利用見込みもないため取り壊す。

3. 施設全体のスケジュール

(概 要)

- ・試験棟は、電気や機械設備の経年劣化状況を見ながら定期的に更新する。
- ・実習場は、未耐震建築物となっており、耐震改修を行うほか外壁や消防設備(自動火災報知設備)を定期更新し使用を継続する。
2019年 実施設計 2020年施工
- ・寄宿舍は、屋根・壁が老朽化が進み、今後の利用見込みもないため取り壊す。

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
試験棟	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む)									照明 LED化	
実習場	耐震改修			設計	施工 耐震改修、 外壁改修、 消防設備更新						
	耐震改修とあわせて行う長寿命化等										
	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む)									照明 LED化	
寄宿舍	廃止			用途廃止・ 除却							

4. 概算費用

--

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R7.1	試験棟及び実習場の照明LED化を追加